

2022年第2回 懇話会

企画委員会

今が旬の鎌倉幕府将軍の源氏3代の動き、鶴岡八幡宮を中心にしての歴史案内は興味津々の講演でした。講師は寺社マイスターの芳澤秀夫氏で、本年第1回の懇話会での神社仏閣のお話に引き続いての第2弾でした。

もう一つの講演は、東海道の浮世絵での旅の紹介と本年150年を迎える開業時の陸蒸気についてでした。今回は品川宿から横浜までの旅路でした。

日時：11月9日(水) 13:30~16:00
場所：東京ボランティア市民活動センターA会議室
(JR 飯田橋駅隣接セントラルプラザ 10階)
参加費：300円
参加者：13名(講師を含まず、コロナで人数制限)

13:30 開催挨拶 理事長

「新型コロナ下で人数制限がありますが、WSC定例の懇話会を開くことができました。本日の講演を楽しみにしたいと思います。時間は限られますが、会員間の情報交換の場として活用ができれば幸いです」

13:35 講演 I

「鎌倉殿の13人、鶴岡八幡宮、鎌倉幕府」

講師 寺社マイスター Y氏



講師は、現役時代YM会員やYO会員と同じ会社にお勤めでした。京都の寺社に関するマイスター試験2級の資格です。

講演は、機材を使用しないで出席者と対話をしながら進められ、会場との一体感を演出された楽しくも有益な時間を過ごすことができました。

プロローグ

出席者と一体感を創り出すように、問いかけ型でのスタートです。

- Q「神奈川県は人口は？」 A「920万人もいます」
Q「鎌倉市の人口は？」 A「17万人です」
Q「鎌倉の名物は？」 A「けんちん汁、鳩サブレ」
Q「鳩サブレ、なぜ？」 A「鶴岡八幡宮の本殿扁額の八の字が鳩の抱き合わせになっているのが由来です」

1.鶴岡八幡宮のお話し

- ・若宮大路の道は真直ぐだが、元は由比の海岸にあった八幡宮を、頼朝が現在の地に遷宮した際に直した。
- ・北条政子が実朝誕生の際の安産祈願のために造営したのが「段葛(かずら)」で、現在復元されている。
- ・参道の太鼓橋の左右にあるのが、源平池である。左の池を平家池と呼び、中に島が4つある。右の池を源氏池と呼び、こちらには島が3つある。ちなみに、4つの島は「し(死)とう」で3つの島は「さん(産)とう」とか。平家池には紅蓮が源氏池には白蓮がそれぞれ咲いていたという。現在は紅白混じっている。

2.政(まつりごと)のお話し

- ・鶴岡八幡宮の東側の地に、政を執り行う「大倉幕府」があつて46年間続いた。次の幕府の場所は、若宮大路と小町大路に囲まれた「宇都宮辻子幕府」である。3代執権泰時が、ここで12年間政を行った。
- ・さらに「若宮大路幕府」は98年間続いた。合わせると、約150年も鎌倉時代は続いた。
- ・NHK-TV放映中の「鎌倉殿の13人」では、歳が一番若いのは義時で37歳だった。次々と殺し合いとなり、一番長生きしたのは初代政所別当の大江広元である。義時の死から1年後まで生きていた。
- ・鎌倉将軍は3代実朝後、9代将軍まであり1333年まで鎌倉時代は続いた。実朝が亡くなった後、7年間も将軍の空白期間があつた。その時は義時が一人執権で政を執り行って頑張り、思い通りに振るまった。

3.武士の時代のお話し

- ・鎌倉幕府の正史である「吾妻鏡」に書かれていることは、ちょっと怪しいところがあり、すべてが正しいわけではない。が、それに基づいて現在では史実が語られることが多い。
- ・北条氏は執権として、政所と侍所の長官を独占していた。義時の後継者である泰時は、六波羅探題を置き、さらに武士の規範である御成敗式目を作り、武士の政を充実させた。

4.お寺とお墓のお話し

- ・安養院 北条政子が夫源頼朝の菩提を弔うために建立した。鎌倉駅から徒歩 10 分の地にある。
- ・杉本寺 坂東の観音 33 観音の一つである。これに、西国 33 観音、秩父 34 観音を入れて合計 100 観音巡りとなる。朝比奈切通の道にある。
- ・白旗神社 源頼朝と実朝が祭神で北条政子の創建である。頼朝のお墓の南にある。
- ・長谷寺の観音様 二つあり、奈良の長谷寺と鎌倉の長谷寺である。両方の観音様のお顔は同じだそうだ。
- ・報国寺 竹林で有名で、朝比奈切通の道にある。
- ・鎌倉霊園 朝比奈切通しにある。ユダヤ人を救済したビザを発給した元リトアニア外交官杉原千畝氏の墓がある。
- ・寿福寺 北条政子と源実朝の墓所である。鎌倉駅から徒歩 10 分、横須賀線の線路の西側にある。
- ・和田塚 和田義盛一族を弔う塚で、江ノ電駅和田塚から徒歩 1 分の地にある。
- ・宇賀神社 銭洗弁財天のことである。源氏山公園の手前の化粧坂（けわいざか）にある。
- ・佐助稻荷神社 銭洗弁在天の南西にある。赤色の鳥居がずらりと並ぶ。
- ・安国論寺 鎌倉南東部の名越の地にある寺で、日蓮の重要な居住地松葉谷である。自己の主張を「立正安国論」にまとめ、北条時頼に呈上した。
- ・満福寺 義経が兄頼朝の怒りを買って鎌倉入りを許されず、その時に自分の心情を認めたのが腰越状である。

5.鎌倉の情報のお話

- ・栄福寺跡 朝比奈の道にあり、源義経と藤原 3 代の鎮魂のために源頼朝が建立した。平泉の中尊寺を模している。
- ・源実朝の歌碑 由比ガ浜の鎌倉海浜公園にある。「世の中はつねにもがもななぎさこぐあまの小舟の綱手かなしも」小倉百人一首に選ばれている。
- ・新田義貞鎌倉攻め 鎌倉の化粧坂と極楽寺坂での戦いが、激戦であった。南西部の海岸である稲村ヶ崎から突入した新田軍が北条一族に勝利した。義貞が太刀を海に奉じると、龍神が呼応して干潮になったという。



15:00 休憩

15:10 連絡 ワールドステイクラブ旗の紹介

15:15 講演 II

「東海道浮世絵の旅～品川から横濱～」その 2

講師 K 氏 (会員)

江戸と東京に関する浮世絵には、いろいろな内容が描かれていて、広重の東海道五十三次の浮世絵からも、江戸の様子を読み取ることができます。旅籠の客引き、各地の名物、難所といわれた渡河の状況、そして大名行列などは興味を引くものがありました。

今回の旅の品川と横浜間は、日本の鉄道の発祥の地であり、おりしも開業以来 150 年ですので、それにまつわる浮世絵での当時の様子の紹介もありました。

今回は、品川宿の夜明けで時間となりましたが、今回は横濱まで到達しました。

・品川宿の日の出 日本橋を七つ立ちで出立した大名行列は、2 時間後の明け六つにここに到着する。お江戸日本橋の歌詞の「夜明けの提灯消す」時間となる。



・品川沖の風景 沖には帆柱 1 本の大きな白帆の船が浮かんでいる。江戸時代は帆柱 1 本に制限されていた。

・品川海岸 潮干狩りの名所であり、お月見の名所であった。浮世絵からその賑わいが読み取れる。潮干狩り客目当ての物売りが描かれていて、当時の目端の利く人たちの様子が面白い。

・高輪の築堤 高輪の藩邸の反対により、止むえず鉄道を品川沖合の海上に築堤を築いて鉄道を通した。目黒川から品川沖への通船口、築堤の石垣の姿が浮世絵から明白にわかる。昨年発見された築堤の遺構の石組模様との一致が、興味を引く。

・八山橋の切通 現在も大きな八山橋があり、箱根駅伝でのポイントになっている。橋下に陸蒸気が走る姿は、文字通り浮世絵に時代を超えての立体感を見せている。

・鉄道開業時の人々 エドモンドモレルは、開業までの鉄道建設工事とその資材調達に貢献した。小野友五郎は江戸の和算の大家で、測量に優れ鉄道線路の建設の日本側の責任者だった。高島嘉右衛門は、今も横浜に地名として残る大実業人で、桜木町開通のための埋め立て工事を請け負った。

・1号機関車 「機関車やえもん」として、小学校の教科書であまりにも有名。イギリスのヴァルカンファ

ンドリ社製造の150形式で、名誉の1号の称号をえている。

・**時刻表** 開業当初新橋～横濱を日に9往復だった。単線なので、川崎で列車交換をした。等級に上中下とあり、中等は人力車、下等が汽船の料金を参考にして決めた。

・**川崎宿の名物** 米饅頭で鶴屋と亀屋があった。
・**六郷川の渡し** 旅姿の客と力を入れて棹さす船頭から、当時の様子が生き生きと蘇る。渡船を待つ荷駄の背中に米俵が4俵、これも当時の習わしがわかる。

・**六郷川の白帆** 六郷川は物流の動脈、下り船には薪炭が、上る船には日用品が積載されていた。

・**六郷川の大名の輿渡河風景** 上流に人壁を作り、大名の輿を中心に水流から守りながら渡る。大人海作戦である。



・**六郷川の旅座頭** 川渡りの浮世絵は、連帯して自律していることを見せている。生き抜く力強さが浮世絵からひしひしと伝わってくる。

・**六郷川の鉄道橋** 洋式鉄道橋の姿が、凛々しい。陸蒸気が、後ろ向きに牽引する様子が面白い。

・**万年屋** 名物は奈良茶漬で、かの有名なハリスさんも宿泊したとか。皇女和宮降嫁の折、ここに立ち寄っている。

・**東海道の川の決まり** 徒歩、渡舟、橋とそれぞれの川毎に決まりがあり、破ることは禁止であった。

・**神奈川宿** 昼も夜も賑わっていて、浮世絵に月の光の下の宿の様子が描かれている。ここでも、客引きと旅人のやり取りの様子が面白い。

・**桜木町** 高島嘉右衛門が、青木橋から野毛方面に埋め立てをして海中造成で線路用地を造った。



・**青木橋** 現在もオープンカットの底に鉄路があり、開業当初からの姿であった。

・**横濱絵** 陸蒸気、黒船、異人さんの浮世絵は、横濱絵として人気があった。横濱の先進性と賑わいを示している。



16:00 終了

参加しました！

(埼玉県富士見市)

Y様の講演は、時宜を得た内容であったと思いました。私も鎌倉が好きで何回も行っており、鎌倉時代の歴史の知識や理解の確認のためにも、興味深く面白く聞かせて頂きました。講師より質問が寄せられると、ドキッとスリルがあります。

浮世絵による江戸と東京に関する説明はユニークで大変面白く思いました。浮世絵を単に絵として見るだけでなく、中味を一つ一つ検討する視点を持つことがより面白くなると思いました。益々浮世絵を好きになりそうです。引き続きお願い致します。

(千葉県船橋市)

鎌倉は、以前より何度も足を運んだ観光地ですが、今回のお話を拝聴して11月24日の散策がより楽しみになりました。時代を超えての懇話会案内にあったように、大河ドラマの放映もあり歴史を肌で感じて思うことはぞくぞくしますね。源氏3代がより強く印象に残っていますが、執権を中心に約150年も幕府が続いたことはその他の武家政権と比較しても頑張った証明ですね。先生の分かりやすい説明に感謝します。

東海道浮世絵の旅は2回目、横浜まで辿り着いたのですが、より具体的に想像しながら聴けて面白いです。絵で表現してもらうことで、より理解が深まり当時の古文書の紀行文などと読み合わせればより良いとおもいました。因みに東海道53次は、後に大阪日本橋まで延長しての57次となっています。参考まで。

(神奈川県横浜市)

鎌倉殿のお話は、TVの大河ドラマに合わせ、講演の仕方や聴衆の話への引き込み方がこの上なく巧妙で大変面白く興味深く聞かせていただきました。横浜に既に20年住んでいても、地理や歴史などをほとんど知らない自分に呆れている次第です。実は、大船駅から源氏山を経て頼朝像と宇賀神社などは散歩しているのですが、これを機会にお話しの内容の確かめ歩きを試みようと思います。

また、「東海道浮世絵の旅」のお話も非常に面白く居眠りすることもなく拝聴いたしました。講師の方の博識と想像力に感心するばかりです。昔の横浜の状況だけでなく、江戸庶民の生活風景まで想像され興味をひきました。

今後もこの有益な懇話会には参加させて頂きたく思います。